



## GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

DIALOGUE Governor+ No.5

水戸みやぎん寄席席亭 内藤 学氏

ロータリー財団月間に因んで

第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」報告

第26回インターアクト年次大会報告

米山記念奨学委員会合同セミナー報告

ガバナー公式訪問報告 (玉造RC)

ガバナー公式訪問報告 (しもだて紫水RC)

ガバナー公式訪問報告 (下妻RC)

ガバナー公式訪問報告 (守谷RC)

ガバナー公式訪問報告 (日立中央RC)

ガバナー公式訪問報告 (日立南RC)

ガバナー公式訪問報告 (日立北RC)

ガバナー公式訪問報告 (筑西きぬRC)

ガバナー公式訪問報告 (岩井RC)

ガバナー公式訪問報告 (鉾田RC)

ガバナー公式訪問報告 (結城RC)

8月会員増強報告

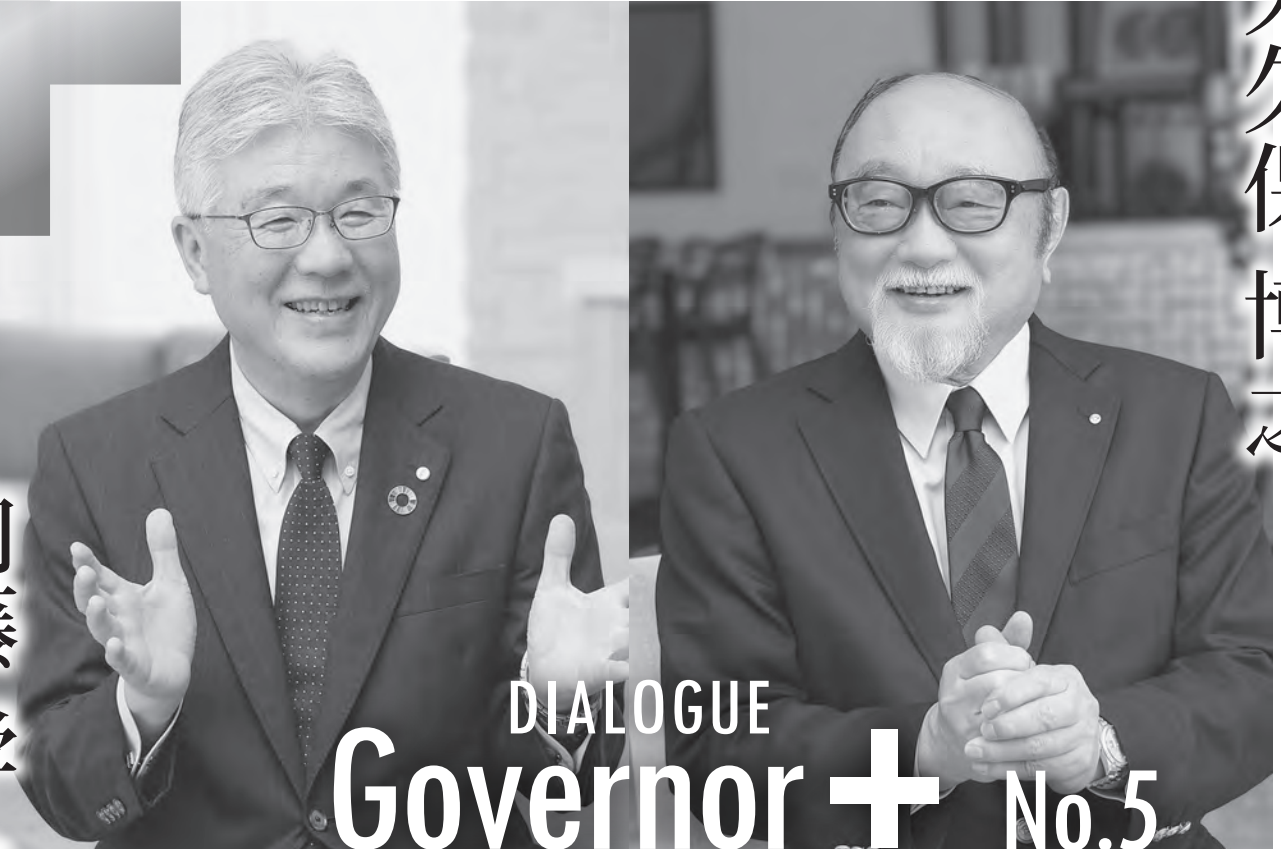
新会員紹介・スケジュール

シンガポール国際大会早期登録のご案内・

2026-2027年度地区ガバナー候補者推薦のお願い

コラム 私の思い・編集後記





## DIALOGUE Governor + No.5

水戸みやぎん寄席席亭（水戸ヤクルト販売株式会社 代表取締役社長）

### 寄席で人に楽しさを。街に賑わいを。

＜大久保ガバナー＞ 街の活性化のためには魅力的なポイントがないとだめですよ。私は、自分の学校の講堂で寄席をやろうと思ったわけです。でも、内藤さんが中心となってやる時に一緒に参加させてもらって、素人の簡単な発想で小屋だけ用意してもできないというのがよく分かりましたが、内藤さんは、落語との結びつきはどんな歴史があったのですか。

＜内藤席亭＞ もともと、私の亡き父が大の落語好きで、何でそんなに楽しいのだろうと不思議だったのです。中学校の頃、本棚に落語全集がありまして、それを何気なしに読んでみたら、面白いじゃないかと。それがきっかけで、高校に入った時に当時あった落研の門を叩きまして、それが落語との付き合いの始まりでした。大学ではあまり接していなかったのですが、社会人になってからまた興味がわいて、15年前に水戸に戻ってきた時に社会人落語家と知り合いになりまして、水戸で落語会を誰もやっていない。

では自分たちでやろうということで、藝文ホールを借りて、「藝文寄席」を今から10年前に立ち上げ、年に3・4回、連続公演をずっとやっていたのです。

＜大久保＞ 私も1回だけ見せて頂いたことがあります。

＜内藤＞ そこで、今回、「みやぎん寄席」でもう一方のパートナーとなる五十嵐さんに出会って、落語界の人たちとコミュニケーションを取るようになったのがきっかけでした。

＜大久保＞ 落語界のプロデューサーである五十嵐さんとの出会いというのも貴重ですよ。

＜内藤＞ そうですね。

＜大久保＞ 「みやぎん寄席」は土日だけなのですが、平日に漫才をやりたいとか、別な出し物をやりたい人には貸すのですか。

＜内藤＞ 平日、貸すことはできます。いろいろな問合せがございまして、あそこで小さい演劇をやりたいとか、実際に漫才をやりたいとい

うことで貸したことはありますし、社会人の落語家の人たちがそこで公演をやりたいということで貸したこともあります。ただ、貸すことは結構難しく、我々は月～金は働いていますので、誰かが出て、鍵を開けて、最後まで立会いをしなければいけないので、今は貸して下さいという要望があれば、理事会にかけて、理事会のOKをもらって、では誰が担当で立会いするかということまで決めてから貸すことにしています。

＜大久保＞ 土日の落語の入場料はどんな感じですか。

＜内藤＞ 大体2,000円～3,000円頂戴しております。噺家さんもランクがございますので、下のランクの方から真打ちの方までランクに分けて、その格に応じて入場料を分けているところです。落語の格は、一番上が真打ち、その下が二つ目、そして前座というランクになっています。ちなみに関西にはこういう格付けはないです。

＜大久保＞ 茨城県出身の落語家はいますか。

＜内藤＞ 数名いらっしゃいますね。

＜大久保＞ 身近なところでは、私、公演を聞きましたが、水戸一高卒の。

＜内藤＞ 柳亭ひろ馬さん。まだ前座です。

＜大久保＞ 水戸としては親しみがあるのですが、ほかにも茨城県の中にもいるのですね。落語のファンはどんな層が多いのでしょうか。

＜内藤＞ 社会人落語で数年間やっていた時に、水戸って落語好きな方が多いなと感じました。ただ、年齢層が高くて、平均すると50～70代の方が多かったような気がします。本当は落語好きな若い方もいるはずなので、その辺のアプローチがまだできていない。あと、学校寄席とか、次世代を育てなければいけませんので、そのためには学校を訪問して、あるいは学校の生徒さんたちに来てもらって落語を見てもらうのが一番なので、その取組はこれからまだまだやらなければいけないと思っています。

＜大久保＞ そうですね。ご自身は出られる気持ちはないのですか。

＜内藤＞ やらないのかと言われるのですが、忙しすぎて時間が取れないというのがあります。

ただ、ガバナーのおっしゃるとおり、あんなにやっていたので、楽しさも十分感じておりますので、チャンスがあればまた高座に上がりたいと思っています。

＜高原幹事＞ 茨城キリスト教学園高校の先生でしたか。

＜内藤＞ 二松亭ちゃん平さん。

＜高原＞ あの方もアマチュアですよ。あの方も上手ですよ。

＜内藤＞ お上手ですね。彼は社会人落語のチャンピオンですから、日本でもトップクラスだと思います。宇都宮とか埼玉とかは社会人落語会を結構頻繁にやっています。茨城大学に落研があるので、その人たちと実際に交流はないのですが、彼らも一生懸命やっていますね。

＜大久保＞ これからの交流も課題ですね。

＜内藤＞ 課題ですね。昔、私の高校にはあったのですが、今はないので、その高校にまた落研を復活させたいという夢もあるのですけどね。

＜高原＞ この間、「みやぎん寄席」に行ったときに、着物を着た女の方、それもあまりご高齢ではない方たちが何人もいたので、「みやぎん寄席」と着物の着付けなどとセットにしてやったら面白いのかもしれないですね。

＜内藤＞ 和の会という団体がありまして、そこは日本文化に親しもうということで、着物で「みやぎん寄席」に2月に1回ぐらい団体で来て下さる方々がいらっしゃいます。

＜大久保＞ それはロータリーと関係ないのですか。

＜内藤＞ あまり関係はないですね。

＜大久保＞ 昔、ロータリーの先輩が着物で集まる宴会をやりましたね。

＜内藤＞ ありましたね。例えば、着物で来て頂くと、少し安くしますとか、そういう企画があってもいいと思いますね。

＜高原＞ 知らない人が多いですね。あるいは敷居が高くて、きっかけがないですよ。

＜内藤＞ まだまだこちらのPR不足もあります。スタッフは月～金まで働いて、なかなか専属でできないものですから。今、会員を募集してまして、個人、企業、団体で会員になって頂くと安く入れるよと。会費年間12,000円なの

ですが、会員を大募集しておりますので、その会員の皆様に、例えば、土曜日の午後の部、4時から皆さんで来て頂いて、その後に食事に行き頂くとか、会社の慰安とか、コミュニケーションを膨らますのに「みやぎん寄席」を利用して頂くといいなと思っています。

＜大久保＞ 落語の原点は、江戸時代の風物と生活模様のお話、熊さん・八つぁんもあるし、長屋の話なのですが、落語というのは江戸時代に生まれたのですか。

＜内藤＞ 正確な記録はないのですが、一番最初は仏教、お坊様が説法するのに、楽しく話を聞いてもらうために、集めて話をし始めたというのがどうやら起源のようですね。それも上方大阪のほうが起源で、そこから始まったと言われていますね。

＜大久保＞ お経ももともと歌ですからね。現代落語はどのような位置づけなのですか。

＜内藤＞ 大きく分けると、古典落語と創作落語の2つに分かれていて、考えてみれば最初はみんな創作落語なのです。それが100年、200年という長い歴史の中で、これはという話が残って、口伝えで師匠から弟子へずっと受け継がれているのが古典落語ですね。古典落語の中でも比較的新しいものもあって、それは明治の終わりから大正、昭和の初期になってからできたものもあります。今、盛んに創作落語を作っている人たちが山ほどいて、その中から受け継がれて、それが古典になっていくという話もありますよね。

＜大久保＞ そうでしょうね。初代の林家三平さんは完全に創作の落語家ですよね。

＜内藤＞ ええ。歌奴さん、円歌師匠とか、そういう形でしたね。

＜大久保＞ ビートルズだって、あと200年もすれば古典ですからね。古典のほうが、時代を経てきているから、普遍性はあるけれども、でも、クラシックだけに、現代よりもずっと権威があるかという、権威はなかったんですよね。

＜内藤＞ 権威はなかったのです。ただ、最近、古典落語でやりにくい話も出てきて、吉原の郭話なんていうのはやりにくいところがあって、表現に気をつけながらやったり、それから、昔

の言葉で分からない言葉っていっぱいあるのですよね。例えば、竈（へっつい）。かまどのことを昔は竈と言っていたのですが、ご飯を作るのがかまどですから、そこに关わる生活のど真ん中ですから、そういった言葉はいっぱいあるので、そういうのを先に説明しながら話に入るとか、一切説明せずにやる方もいらっしゃいますし、差別的な用語もいっぱいありますから。飲む・打つ・買うとかですね。

＜大久保＞ だから、生の落語の寄席の魅力とこのがあるわけですよ。

＜内藤＞ それはあると思いますね。

＜大久保＞ ただ、お客さんに10歳の子どもが一人交じっていたりすると、なかなか言いにくくなってしまっ。そういうところに人間のいい面もありますが、ずるさ、せこさ、おかしさ、そういうところにも人間として生きている味があるわけですよ。

＜内藤＞ そこにドラマがあって、物語が生まれるのですよね。

＜大久保＞ それは人間のある面の真理だから、明るい未来の話ばかりでは落語は成り立たないですよ。

＜内藤＞ そのほかに、人間の変わらぬ真理、男女の機微、それはあるのですよね。人情話もそうです。落語って、ゲラゲラ笑う話ばかりではありませんから、人情話で、親子の関係、夫婦の関係、そういうのを表現しているすばらしい落語は山ほどありますので。

＜大久保＞ そうですね。だから、落語家と言われるより噺家と言われるほうを好むという話もあったのですが、そんなことはないのですか。

＜内藤＞ そうですね、噺家が多いかと思ひます。

＜大久保＞ 笑わせるだけではなくて、泣かせる落語もあるわけですからね。そういうところも聞いてほしいですよ。

＜内藤＞ 「みやぎん寄席」でいろいろな落語を聞いて、奥深さを感じて頂きたいですね。

＜大久保＞ ロータリークラブに期待するものはありますか。

＜内藤＞ 我々も、落語だけではなくて、「みやぎん寄席」を作るに当たって、運営母体として、一般社団法人まちコンテンツ共創協会を作っ、



そこが運営する形で、まず落語をやろうと思ったのです。それはコンセプトがあって、人に楽しさを、街に魅力を。箱だけではだめだよね。コンテンツがないと人は来ないよね。じゃあ、コンテンツって何。映画や演劇、ミュージカル、落語、音楽、いろいろある。それを我々の中でコンテンツを実際に作っていかうと。その中で手っ取り早く、たまたま私が落語界に顔があったものですから、では寄席をとっ初めに作っていかうと。我々の目標は、それをとっかかりとして、ミュージカルを作っていかう、今度はコンサート会場を作っていかう、いろいろ広がっていくわけです。まちの活性化という意味では、ロータリーの目的と全く合致するわけですから、ロータリーの皆さんと一緒に活動していれば本当に素晴らしいと思います。まずはロータリーの皆さんに「みやぎん寄席」に来て頂いて、とにかく楽しんで頂きたい。

**<大久保>** 年間会員にとにかくなくて、何度でも来てちょうだいということですね。

**<内藤>** ロータリーの皆さんに会社で会員になって頂いて、格安で 500 円引きで見られますから、会社で順番に来て頂く。会社のコミュニケーションがとってもよくなると思うので、大いにロータリーの皆さんに「みやぎん寄席」を利用して頂きたいと思っています。

**<大久保>** そうですね。締めになります、私のところの職員は学園で支払っています。研修として簡単なレポートを条件に無料で見られ

るので、どうですかと皆さんに聞くと、先生としては表現力の勉強になる。ものの伝え方、感情の伝え方はすごく勉強になる。2つ目が、心が疲れている時に、笑うと心が晴れ晴れとする。だから、やっぱりいいですねというのが私のところの職員に聞いた話で、寄席を大いに活用してもらえればいいのではないのでしょうかね。

**<内藤>** 僅か 40 数席の小さい小屋なので、噺家さんとの距離が非常に近いのです。マイクなしでやっていますから、これほど一体感のある寄席はない。本当に素晴らしいことだと噺家さんがみんな言って下さっています。狭いところでやるのが本来の落語ですから、そういう意味では、噺家の皆さんも「みやぎん寄席」に原点を感じて頂いているのかもわからないですね。

**<大久保>** そうかもしれないですね。今日はありがとうございました。



大久保ガバナー 内藤席亭 高原幹事

PERSON



**水戸みやぎん寄席席亭 内藤 学氏**  
(水戸ヤクルト販売株式会社 代表取締役社長)

生年月日 昭和35年(1960年)1月9日

学歴 茨城県立水戸第一高等学校卒業  
早稲田大学卒業

経歴 平成22年 水戸ヤクルト販売(株)  
社長就任  
令和4年 (株)ヤクルト本社  
取締役就任

公職歴 令和4年11月~現在

水戸商工会議所会頭  
茨城県商工会議所連合会会長

その他 水戸みやぎん寄席席亭

趣味・スポーツ

落語・ゴルフ・サイクリング

座右の銘 一隅を照らす



## ロータリー財団月間に因んで

地区ロータリー財団総括委員長

**新井和雄**

(下館RC)

地区内会員の皆様におかれましては、日ごろからロータリー財団にご支援を賜り心より御礼申し上げます。

今日、ロータリー財団の使命は「ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるように支援すること」と示されています (My ROTARY 2023)。

この数年の間、我々人間社会は、ウイルスの世界的流行、自然災害、紛争、食糧・エネルギーの不安など、危機的な状況に直面してきました。しかし、我々ロータリーは、これを一つの機会として、互いを思いやり、一人ひとりがこの変化の時代に柔軟に適応することにより、人類のために持続可能な良い変化をもたらすことができました。

例えば、アフリカ大陸から野生型ポリオウイルスを根絶したこと、最初の大規模プログラム補助金の受領対象として「Partners for a Malaria-Free Zambia (マラリアのないザンビアのためのパートナー)」が実施されたこと、新たな重点分野として「環境」が追加され、当2820地区がホストとなり、ロータリーが、世界中のそれぞれの地区で、市民とともに海岸や河川や湖沼を綺麗にしながら地球環境問題へ意識を傾けたこと、そしてロータリー平和センター

専門能力開発修了証取得プログラムを再構築し、アフリカ初のロータリー平和センターに学生を迎え入れたことなど、我々は大胆に行動し成果をあげてきました。

このような実績が示すように、私たちは互いに手を差し伸べあい、グローバルなネットワークを通じて、世界平和に寄与したことを誇りに思うべきです。それでも、社会が直面している課題は山積しており、我々ロータリーは積極的平和の旗手として、今後もより活発な行動が求められています。

世界で良い奉仕活動が続けるために、ポリオを根絶するために、紛争に巻き込まれた子どもたちが将来の希望を見いだせるように、そしてみんなの人生を豊かにするために、今年度も、年次寄付・ポリオ寄付などを通じたロータリー財団へのご支援をお願い致します。

最後になりますが、ロータリーの各分野における奉仕活動は、ある時は社会に貢献しながら、またある時はクラブに貢献しながら、自己達成のために新たな知見や経験を得る研鑽の場になるのだと思います。こうして、奉仕の理念や中核的価値を共有し、自己を磨き、生業を成長させ、持続可能な社会の発展のために「超我の奉仕」を実践されている地区内会員の皆様方に敬意を表しますとともに、財団委員会へのご理解に衷心より感謝申し上げます。



## 第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」

ロータリー学友委員長

保 延 輝 文

2023年8月5日（土）と6日（日）二日間にかけて、第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」がつくば市で開かれました。今大会の主催者は関東一都六県にある10地区の米山学友会（RID2550, RID2570, RID2580, RID2590, RID2750, RID2770, RID2780, RID2790, RID2820, RID2840）であり、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会のご協力のもとで開催されました。第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」は、米山記念奨学事業の素晴らしさを実感させ、世界平和への貢献に繋がる盛大な会となり、大成功のうちに幕を閉じました。

ロータリー米山記念奨学金は、勉学のために日本に留学に来た私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する制度です。この奨学金制度の恩恵を受け、成長した米山奨学生たちが卒業後、世界各地で活躍しています。米山世界大会は、ロータリーが目指している世界平和を実現するための米山学友とロータリアンの集まりです。

米山世界大会は、2016年ロータリー国際大会（ソウル）をきっかけに、各国の米山学友、米山奨学生が初めて世界の米山学友たちが大集

合したのが始まりです。2017年にロータリー米山記念奨学事業・財団設立50周年を記念して、正式に第1回目の米山学友による世界大会「感謝 in 熊本」が熊本で開催され、2019年に第2回目の米山学友による世界大会「絆 in モンゴル」がウランバートルで開催されました。

今回の米山学友による世界大会「再会 in 関東」は、国内34地区海外10地区で合計44地区の全米山学友会のメンバーが参加しました。茨城県大井川和彦知事、つくば市五十嵐立青市長よりご祝辞をいただきました。日本を含む世界32カ国から1,200人を超える参加者が参加した今回の米山学友会の世界大会は、約3500万円の経済効果をもたらし、地域活性化に貢献しました。

今回の米山学友による世界大会実行委員長である東京友愛ロータリークラブの朴貞子さん、プログラム委員長である第2820地区米山学友会の崔玉芬さんのリーダーシップのもとで、全ての米山学友たちが協力し合い、学友の力で大会を成功に導きました。「手作り感」溢れる今大会は、米山事業の素晴らしさを改めて実感できましたし、これからも米山事業の素晴らしい未来を期待したいと思います。



## 第26回インターアクト年次大会報告

インターアクト委員長

太田 秀夫

8月11日（金）に第26回インターアクト年次大会が水城高等学校にて開催されました。参加者数は登録ベースでインターアクターが102名、顧問の先生、ロータリアンを含めて合計180名で過去最大の規模となりました。関係各位に感謝申し上げます。

開催内容は次の通りです。インターアクトクラブは、学校や地域社会を支援するプロジェクトと、国際理解を促進するプロジェクトを含む活動を目指しており、バランスの取れた企画だったと思います。

- ・大会テーマ： Innovation for YOUR future!  
～あなたの未来のための改革～
- ・基調講演 昭和女子大学 興梠 寛先生  
演 題  
「私が変わる、社会は変わる」  
～ピーターラビットの眼からみた  
ボランティアの未来～
- ・ロータリー青少年交換留学について（体験談など）  
宇留野 青少年交換委員長
- ・グループワーク・意見交換会  
SDGsに関する数字ゲーム 「FACT あなたの常識は大丈夫？ 常識を疑え！」

年次大会の主役はインターアクターであり、代表して水城高等学校インターアクトクラブ会長の川端さくら様から次に感想文を寄せていただきました。主催者の一人として非常に嬉しく思います。

第26回インターアクト年次大会を終えて

この年次大会は、人と出会い、一緒に何かを成し遂げることの素晴らしさを実感できる経験でした。長きに渡る準備を、仲間と積み重ねたことは最高の思い出です。楽しく晴れやかな気持ちで、今大会を終えることができました。

基調講演では、私が興梠先生の講演を初めて聞いたときに感じ、多くの人に伝えたいと思っていたことを、先生が再度示して下さいました。自分の可能性に気づき、今後の活動をポジティブに考えられるように変わった瞬間の会場の空気を、ホスト校として舞台袖から感じた時のことが心に残っています。

グループワークでは、最初は固い雰囲気でもありましたが、一人一人と向き合う気持ちで進行了しました。各グループのリーダーが本領を発揮して、教室の雰囲気が柔らかくなり、会話で溢れるようになった時には感動しました。

これまで多くのロータリアンの方々、顧問の先生方、全ての部員に、日々の活動の際にも精神的に支えられていたことを実感し、感謝の気持ちでいっぱいになっています。改めて、ホスト校という光栄な、成長できる機会を頂いたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



第26回インターアクト年次大会の参加者  
於 水城高等学校講堂





## 米山記念奨学委員会合同セミナー報告

米山記念奨学委員会

総括委員長 **木村 美枝子**

(水戸好文RC)

2023年8月27日、つくば山水亭にて米山記念奨学委員会合同セミナーが開催されました。出席者は大久保博之ガバナーを始め6名の地区役員の皆様、世話クラブ・準世話クラブのカウンセラー・クラブの米山委員長の皆様、米山記念奨学生の皆様と地区委員会委員の87名でした。

奨学生にとりましては丁度夏休み中で、研究にアルバイトにバケーションにと忙しい最中にはありましたが、出席義務がある行事に参加する意義を見出しただけのように、午後の部では、奨学生同士のグループディスカッションを取り入れ活発な意見の交流を楽しんでいただきました。

他方、ロータリアンの皆様にも、6つのグループ編成をお願いして、グループディスカッションで、日頃カウンセラーとして奨学生とコミュニケーションをどのようにとっているか、又その際にトラブルや、困ったことがないか、どのように課題を解決されているか等の問題を表面化して話し合い、発表者に内容をメモしていただき、ディスカッション終了後に各グループごとに発表する時間を設けました。

合同セミナーの午前の部の最後に質疑応答の時間も取っていましたが、会場からの質問は特になく米山事業に関する理解度には地区委員会としては一定の評価を示していると考えていました。

ところがグループディスカッションでの、活発な意見の交換、発表でのボリュームの大きさを見ると、ロータリアン一人ひとりが個人の意

見として話せなかったことが、まとまったことによって意義を見出し課題解決に向かって、エネルギーの増幅を得たように動き出しました。

また、会場を別にして奨学生もグループディスカッションを同時進行されていて、空間的に隔たれているにもかかわらず、同じトピックが話されてその場で解決に繋がる事がありました。その事例の一つとして、ロータリアンのCグループでカウンセラーさんから、奨学生のコミュニケーションについて、日本語は苦手とのことで、奨学生期間中は英語だけの会話で苦労したとのことでした。

グループディスカッションが終了して、発表の時間になったとき、先程英語だけで奨学期間を過ごした奨学生がグループの発表者として、日本語で話し出しました。彼は9月30日で奨学生期間を終了しました。世話クラブへの最後の訪問で日本語で感謝のスピーチをされたそうです。今後は総括委員長としてさらにロータリーと学びの同調について学んで行く所存です。



修了証書授与式



## ガバナー公式訪問報告

幹事代理 前田 成子  
(玉造RC)

令和5年8月4日(金)、午前10時玉造RC毎年恒例の玉造道の駅「情報館」前にて大久保博之ガバナー、高原裕地区幹事、関康彦地区副幹事を荒井ガバナー補佐(玉造RC)坂本会長、幹事代理の前田でお迎えしての公式訪問が始まりました。当日も猛暑が続く暑い日でした。はじめに高須崎公園の40周年記念事業の時計塔、補助金事業のベンチ等を見て頂き、次に「見て覧(ミテラン)」候補地の霞ヶ浦ふれあいランド「虹の塔」からの360度の景観を楽しんで頂き、道の駅と道の駅からの筑波山を望む霞ヶ浦を堪能して頂きました。

11時より例会場(藤屋食堂)隣室にての大久保ガバナー、荒井ガバナー補佐、会長、幹事、茂木会長エレクトでの事前協議会、和やかな雰囲気の中、クラブでの現状報告、会員増強の難しさ等の協議を致しました。

12時昼食。12時30分より通常例会、大久保ガバナーの卓話では、RI会長の掲げるテーマ、大久保ガバナーの掲げる地区方針・スローガンについて大久保ガバナーの職業奉仕から「学校教育」英国のリーダーを育てるパブリックスクールの教え、そして地区はクラブの応援団についての映像で「世界に希望を生み出そう」「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」についてより一層の理解を深める事が出来ました。

例会終了後大久保ガバナーを囲んでの記念写真撮影。

14時クラブ協議会では各委員長より今年度の方針目標を発表して貰い、大久保ガバナーより高齢小クラブならではの奉仕活動の在り方などのご指導を頂き有意義な協議会になりました。

最後に大久保ガバナーの講評として少人数でよく頑張っていると褒めの言葉と会員増強に力を入れて下さいとのご助言を頂きました。高原地区幹事からはメンタルヘルスの推進と出前卓話を利用して下さいとのお言葉を頂きました。荒井ガバナー補佐からは、8分区最初の「公式訪問」を自クラブでして頂いた事に感謝ですとの感想を頂き、協議会が終了致しました。8月の酷暑の中、大久保ガバナー・高原地区幹事・関副幹事・荒井ガバナー補佐、長時間に渡り有難う御座いました。会員一同感謝と共に御礼を申し上げて公式訪問報告とさせていただきます。







## ガバナー公式訪問報告

幹事 倉持悦子  
(しもだて紫水RC)

8月8日(火)の公式訪問は大久保ガバナーをはじめ、軽部ガバナー補佐、高原地区幹事、増山地区会計長、横須賀地区副幹事、熊倉ガバナー補佐、セクレタリーの皆様をお迎えし、無事に終わることができましたことを心から御礼申し上げます。

さて、ご到着後、筑西市役所内にシティプロモーション推進課を新設し、町興しに尽力する須藤茂筑西市長への表敬訪問は、大久保ガバナーからのご質問に答えた形で、道の駅を含めたいろいろな町興しについての具体的なお話は実に興味深い話でした。

その次は、36度の酷暑の中、15分の滞在時間でしたが、「見て覧(ミテラン)」の候補地の一つでもある羽黒神社を訪れ、説明は観光ボランティアのご協力をいただきました。事前の協議は楽しいもので、ガバナーの人柄に触れることができました。

公式訪問の例会での大久保ガバナーの卓話は親睦や奉仕の意義に当クラブの内容も取り入れていただき、あっという間のお時間でした。特に5年未満の会員の方から、「よく理解できた」や「ロータリーを知ることが出来た」などの声をいただきました。

14時からのクラブ協議会におきましては、各委員長から3分程度の発表の中にユーモアあり、質問ありの会場は笑いに包まれながらも大久保

ガバナーのご指導は的確で、どんな意見も受け入れる姿勢に感銘を受け、本当に勉強になりました。

さらに、大久保ガバナーのご指南があり、高原地区役員や他の皆様からもアドバイスをいただき、今後の当クラブの発展のためにとっても役に立つ内容で、今回の公式訪問はとても有意義なものでした。

今後ともご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。





## ガバナー公式訪問報告

幹事 **宇田川 真由美**  
(下妻RC)

8月17日(木)大宝八幡宮に於いて、大久保ガバナーと軽部ガバナー補佐(下妻RC)、高原地区幹事、稲毛地区副幹事をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

散歩の駅サン・SUNさぬまにて、社会奉仕事業として行なっている砂沼湖畔を見学し、その後、下妻さぬま湖畔ロータリー衛星クラブ例会場の粉クリスタジオをご案内しました。また、ほたるの里も見学していただきました。

例会場に到着後は、大宝八幡宮の境内を山内宮司の案内のもと、参拝と見学をしていただきました。

例会に先立ち会長・幹事懇談会を開催いたしました。懇談会では、ガバナーから会長方針・奉仕活動・行事予定などに対するアドバイスを

頂きました。有難うございました。

例会に入りガバナーの卓話では、ガバナーのメッセージ動画をもとに、ビジョンをお話していただきました。例会後、外での記念撮影を行うことができました。

クラブ協議会では各委員長の発表に対して大久保ガバナーからの的確なアドバイスをいただき、メンバーもたくさんの気づきを得られたものと思います。

最後に、当日はメンバー一丸となって準備設営に取り組みさせていただきました。おかげさまで終始和やかに進行ができたと思っております。今回の学びを活かし今後のロータリーの活動に邁進していきたいと感じたガバナー公式訪問でした。ありがとうございました。







## ガバナー公式訪問報告

幹事 橋本 秀明  
(守谷RC)

災害級の猛暑の中本年も会員数3名にてガバナー公式訪問を行うこととなりました。お盆ウィークは開催場所の確保が難しく、会場の「元禄鮎」を何とか確保できました。

例会におきまして大久保ガバナーより卓話をいただき地区のスローガン、目標の説明をいただきました。

クラブ協議会におきましては、当クラブの課題であります会員増強、地区補助金を使い社会奉仕として守谷市内小中学校へのテント寄贈事業。その他、月に1回守谷駅前清掃の協力、特別養護老人ホーム峰林荘（ハウリンソウ）の夏祭り参加、龍ヶ崎税務署管内納税組合の納税意識推進運動への協力など報告させていただき、ご意見を賜りました。さらに本年度より結城ロータリークラブの協力を得ながらタイへのランドセル贈呈事業を行いました。守谷市ならびに市内小中学校の児童・生徒さん、父兄の皆さんに多大なる好評が得られましたことをご報告させ

ていただきました。

ガバナー他みなさまにおかれましてはご指導ありがとうございました。さらに大久保博之ガバナーの益々のご活躍とご健康をご祈念申し上げます。

なお、後日「広報 MORIYA」に掲載されました守谷RCのランドセル贈呈記事を添付いたします。



### タイに到着!

## 「思い出のランドセル」

多くの皆さんからご協力いただいた、タイ王国の小学校へのランドセル寄贈事業。受付期間は令和5年3月の8日間という短い期間でしたが、集まった数はなんと469個! 5月から船便での輸送を始めたが一度には送り切れず、4回に分けて6月末までに全てを運ぶことができました。子どもたちの思いが詰まったランドセルの寄贈先は、バンコク市内4つの小学校に決定。第一度が到着した6月8日には、ワット・ドアン・グエ小学校でランドセル無事式が実施されました。

子どもたちが見つめる中、代表としてランドセルを受け取った「トムワンロータリークラブのイン会員は、「愛を持って大切に使われていた日本の家庭からのランドセル。これからは皆さんが大切に使って、勉強に励んでください」とこころ、手渡された子どもたちも、物珍しそうに、そして大切に、しっかりとランドセルを抱えていました。

守谷ロータリークラブでは、当初、寄贈いただいた皆さん全員に感謝状を送る予定でしたが、想定を大きく上回る皆さんからご協力をいただいたため、二重もりやで郵送させていただくこととなりました。皆さん、本当にありがとうございました。

守谷ロータリークラブ 幹事 橋本 秀明

---

### もりやの LUNCH TIME

給食センターのメニューから、オススメのレシピを紹介!

#### リっちゃんサラダ

リっちゃんサラダは、小学校1年生の国語の教科書に登場する「サラダでけんま」の中に出てくる料理です。具の種類が多く、トマトの入ったドレッシングで和えるため、彩りがきれいなサラダです。夏布やかつお節のうま味が効いています。

キャベツ	135g	※カットトマト(缶)	25g
にんじん	25g	※サラダ油	小さじ7
きゅうり	50g	※こしょう	少々
コーン(缶)	25g	※卵	小さじ1
りんご	25g	※ガーリックパウダー	少々
揚げ豆腐	35g	※砂糖	小さじ1
かつお節	1g	※しょうゆ	小さじ1杯

▶問合せ 学校給食センター ☎48-0253

作り方

- キャベツを2cm厚めに切り、下ゆでし水気を切って冷やしておく。
- きゅうりは縦切り、にんじんは千切りにし、それぞれお湯でさっとゆで茹でて冷やしておく。
- コーンは汁気を切っておく。
- りんごは細切りにする。
- 縦切り豆腐を2cm程度に切り、茹でて水気を切って冷やしておく。
- ①～⑤の材料を混ぜ合わせてドレッシングを作る。
- ①～⑤と⑥かつお節をボールに入れて混ぜ合わせ、⑥のドレッシングで和える。



## ガバナー公式訪問報告

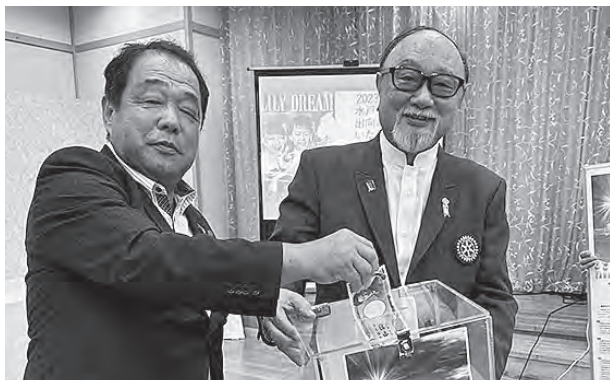
幹事 相馬 志乃  
(日立中央RC)

8月21日(月)、大久保ガバナー、鹿志村ガバナー補佐、高原地区幹事、中庭地区副幹事、小野瀬セクレタリー、赤須セクレタリーをお迎えし、例会場でもあるホテル天地閣にて、ガバナー公式訪問を開催いたしました。

正副会長・幹事協議会ではざっくばらんに、そしてクラブ例会・クラブ協議会では寛容なご配慮のもと、世界のロータリーの状況や、大久保ガバナーの「学校屋」として未来ある子どもたちへの教育への熱い思い、地区が掲げる目標・行動などをわかりやすくご説明いただきました。また、クラブ現況報告書へのご指導も、限りある時間の中で解説いただきました。地区の方針として、地区の主役は各クラブ、各クラブの奉仕活動や親睦が大事、地区は応援団とのお話も

心に残りました。大久保ガバナーのお話を受け、地区研修、出前卓話など、地区の資源を有効に活用し、会員のスキルアップ、さらには会員増強に努めてまいります。

大久保ガバナーをはじめ、地区役員の皆様におかれましては、大変お忙しい中ご訪問いただき、そして、ご指導を賜り、会員一同心より感謝申し上げます。ありがとうございました。







## ガバナー公式訪問報告

幹事 高島 章 行  
(日立南RC)

8月22日(火)当日日立南ロータリークラブ例会場「要害クラブ」にR I第2820地区ガバナー大久保博之様、地区幹事高原裕様、地区副幹事宮田武範様をお迎えしおかげさまで実りの多いガバナー公式訪問ではなかったかと思われれます。

今回は我々日立南ロータリークラブから輩出した第一分区ガバナー補佐、鹿志村高道会員とガバナー補佐セクレタリーの小野瀬裕会員、赤須哲也会員も参加してもらい例会前の事前協議会から公式訪問が開始されました。

事前協議会では日立南RCの現在の課題と次年度以降の取り組み等についてガバナーよりご指導をいただき今期～来期にかけてのクラブ運営の道筋が見えました。

12時からの例会では、ガバナーからパワーポイントを使ってガバナーの自己紹介と地区の目標・スローガンについてご説明をいただきました。R I会長の今年度スローガン「世界に希望を生み出そう」についてと国際協議会の研修について、またR Iの目標についてご説明いただきました。それを引き継ぐ地区目標とスローガン「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」についてもご説明をいただきました。「地区はクラブの応援団」であり地区は4つのカテゴリーのクラブ単独で出来かねる活動をする事。今年度ウクライナ支援、職場のメンタルヘルス、女子のエンパワーメントに注力してもらいたい事をお話しいただきました。また、地域の経済活動の活性化の一環として社会奉仕委員会にて茨城ガイドブック「見て覧(ミテラン)」を作成する主旨についてもご説明いただきました。ポリオの根絶運動について第一分区は9月9日常陸多賀駅付近で実施する「よかっぺまつり」でポリ

オ根絶活動の啓蒙と募金活動をする点について打ち合わせをさせていただきました。

ガバナーを囲んだ集合写真撮影の後はクラブ協議会にうつり、各委員会の運営についてご指導をいただきました。各委員会からの報告・相談を順次すすめガバナーからは様々なアドバイスをいただきました。歴史あるクラブなので過去の話若くは若い人達に教えてあげることが大事である点もご指摘いただき大変参考になりました。

大久保ガバナー及び地区・分区から朝早くにご参加いただいた皆様に心から感謝申し上げ日立南ロータリークラブ公式訪問の報告とさせていただきます。ありがとうございました。





## ガバナー公式訪問報告

幹事 城戸 康  
(日立北RC)

8月23日ホテルテラスザスクエア日立にて大久保博之ガバナー、地区幹事高原裕様・地区副幹事長補佐二川泰久様・ガバナー補佐鹿志村高道様・補佐セクレタリー小野瀬裕様・補佐セクレタリー赤須哲也様をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。

玄関前で記念撮影を行い、続いて会長幹事及び次年度会長幹事との協議会が開催され、当クラブの活動状況と今年度の活動計画を大久保ガバナーに報告いたしました。ガバナーより「見て覧（ミテラン）」に対する御説明を頂き、当クラブの候補地選定の御説明をさせて頂きました。

12:30からの例会では、大久保ガバナーによりパワーポイントを使用して、リーダーの有り方とは、の御紹介をリリー学園の教育方針でもあるリーダーの心得を映像を交えて分かり易

く説明を頂きました。

14:00からのクラブ協議会では、社会奉仕委員会による「ホテルの里」整備事業と、国際奉仕委員会による「フィリピン・マニラのストリートチルドレン支援」事業と併せて、新たな国際奉仕委員会による新たな姉妹都市のクラブ選定も模索している事を報告いたしました。

この度は遠方よりのご訪問に感謝申し上げます。ありがとうございました。







## ガバナー公式訪問報告

幹事 長 沢 廣  
(筑西きぬRC)

8月24日(木)当クラブ例会場に、大久保博之ガバナーをはじめ高原地区幹事・山口地区副幹事ならびに軽部守彦ガバナー補佐・江田セクレタリーをお迎えし、公式訪問が行われました。

11時から協議会に入り、クラブ現況報告書に関する質疑応答や事例紹介による当クラブの抱える悩み(会員増強)への対応など、課題解決へのヒントをいただくことが出来ました。

定刻になりクラブ例会開始、ガバナーには新会員入会セレモニーに加わっていただき、新会員も大変感激することになりました。

また、ガバナーからは、RI会長並びにガバナーのメッセージやテーマなど「やるべきこと」について、熱が入った卓話をいただくことが出来ました。

記念撮影の後、14時からクラブ協議会が開催され、各委員長から本年度の活動方針・計画を発表し、ガバナーからは評価や細やかなご指導を、そしてガバナー補佐・地区幹事・地区副幹事からもご意見をいただくなど、充実した協議会になりました。

本日の公式訪問は、当クラブの今後に繋がる有意義な1日になりました。





## ガバナー公式訪問報告

幹事 後藤 みち代  
(岩井RC)

8月28日10時大久保博之ガバナー・高橋采子ガバナー補佐・但野地区副幹事・久野 茂セクレタリーをお迎えして、2023-2024年度ガバナー公式訪問が開催されました。例会場であります坂東商工会に10時に到着され、応接室にて大久保ガバナー・高橋ガバナー補佐・上坂商工会会長・張替会長・後藤幹事との懇談会が行われました。上坂商工会会長はロータリー会員でありますので和やかにスタート致しました。

まず初めに、坂東市市役所に表敬訪問です。当日市長は調整がつかないと話されておりましたが、時間を割いて出席していただきました。短い時間でしたが有意義なひと時となりました。

次に茨城ガイドブック「見て覧（ミテラン）」にも掲載予定の「坂東市観光交流センター秀緑」を視察していただきました。

それから岩井ロータリークラブ事業の一つでもあります坂東市立岩井中学校前の「里山整備」状況を見ていただき、猛暑日でしたが、里山は高い木が生い茂っていますので、5℃位は涼しく感じられます。遊歩道を中央に作り、綺麗に

整備されていて素晴らしいと好評をいただきました。

次に例会場へ移動。各委員長から本年度の活動方針、事業計画の報告をした後、ガバナーより委員会毎に丁寧なアドバイスをいただき意義深い協議会となりました。少数の会員ではありますが、一丸となり、これからも奉仕活動に励んで参ります。ありがとうございました。







## ガバナー公式訪問報告

幹事 円谷俊介  
(鉾田RC)

令和5年8月29日(火)に、大久保博之ガバナー、荒井一美ガバナー補佐、高原裕地区幹事、白田礼治地区副幹事をお迎えし、当クラブ例会場にてガバナー公式訪問を開催しました。

当日は酷暑ということもあり、「見て覧(ミテラン)」該当箇所見学等を省き11時より別会議室にて事前協議会を行いました。協議会において大久保ガバナーからは当地区についての話や行政、教育論など我々の緊張を和らげる為に雑談を交えながら和やかな雰囲気のもと現在クラブが抱えている問題や地区に対してクラブがどういう存在になるべきかなどご意見いただきました。

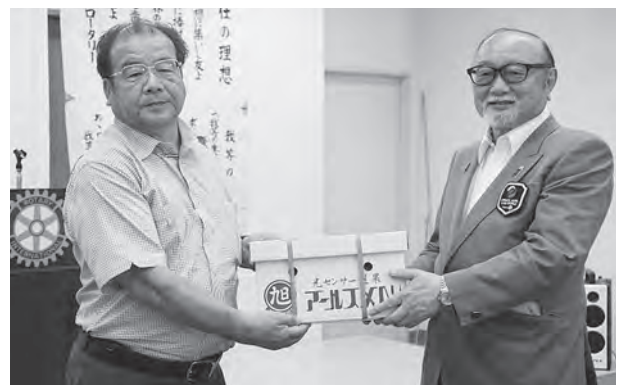
その後例会が開催され、昼食後、ガバナーよりプロジェクターでの映像を交えた卓話を頂きました。国際ロータリーの方針や日本、第2820

地区の目標についての説明はもとより、ロータリアンとしての理念や在り方など、根本的なことまで理解しやすく丁寧に御教授下さり、流石は教育関係者だと感服致しました。

卓話の後は記念撮影を挿み、クラブ協議会に移りましたが、その際にも各委員の計画・方針に対し真摯に向き合い丁寧に解説。アドバイスを下さりました。

限られた時間の中でガバナーと数多くの意見交換をすることができ、大変有意義な日となりました。

大久保ガバナーをはじめ、同行されました役員の皆様には心より感謝申し上げます。皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げ報告を締めさせていただきます。





## ガバナー公式訪問報告

幹事 四 宮 英 男  
(結城R C)

当初の予定を変更していただき、長時間にわたるご訪問となりましたが、ガバナーはじめご来訪の皆様にはすべての日程を最後まで精力的かつ真剣に対応していただきました。

市長表敬訪問では青年会議所の先輩（ガバナー）後輩ということもあり、終始和やかな雰囲気での懇談となりました。事前視察では「見て覧（ミテラン）」の掲載予定地であるユネスコ無形文化遺産登録の結城紬産地の代表的施設「つむぎの館」、旧市街地に点在する神社仏閣のひとつで結城市総鎮守「健田須賀神社」の2か所を訪問していただきました。

役員懇談会も築90年を超える旧呉服店をリノベーションした Coworking Space YUINOWA で行い結城らしさを感じていただきました。

例会でのガバナー卓話では、ご自身の職業を通じて教育に関する話題を中心に熱く語って

いただいたことに多くの会員が感激していました。クラブ協議会でも「地区はクラブの応援団」の基本的な考え方として各委員会へのアドバイスをいただきました。

全ての予定終了後、予定外ではありましたが当クラブが20年間継続して行っている里山の保全と子供達の自然環境教育に資することを目的とした事業の地「結城市健康の森」にもお立ち寄りいただき、視察ご確認をいただきました。





## 8月会員増強報告

分 区	クラブ名	会員増強報告(単位/人)								
		本年未 会員目標	期首 会員数	8月実績		本年度累計			2023年 8月末日	うち 女性
				入会	退会	入会	退会	純増		
第1 分区	日立	74	72	0	0	0	0	0	72	3
	日立南	34	32	0	0	0	0	0	32	2
	高萩	30	26	0	0	0	0	0	26	0
	北茨城	28	25	0	0	1	0	1	26	3
	日立港	35	33	0	0	1	0	1	34	3
	日立北	30	28	0	0	0	0	0	28	0
	日立中央	20	18	0	0	0	0	0	18	2
	合 計	251	234	0	0	2	0	2	236	13
第2 分区	那珂湊	25	23	0	0	0	0	0	23	1
	常陸太田	31	29	0	0	0	0	0	29	6
	大子	23	21	0	0	0	0	0	21	2
	大洗	18	15	2	0	2	0	2	17	0
	勝田	27	25	0	0	1	0	1	26	4
	東海那珂	34	32	0	0	2	0	2	32	0
	ひたちなか	23	21	0	0	0	0	0	21	2
	合 計	181	166	2	0	5	0	5	169	15
第3 分区	水戸	125	124	2	0	5	0	5	129	5
	笠間	17	15	1	0	1	0	1	16	0
	水戸西	73	71	1	0	1	0	1	72	13
	水戸南	80	77	0	0	0	0	0	77	12
	友部	21	17	1	0	1	0	1	18	0
	水戸東	67	62	1	0	1	0	1	63	4
	水戸さくら	49	36	0	0	7	0	7	43	6
	水戸好文	18	16	0	0	1	0	1	17	16
合 計	450	418	6	0	17	0	17	435	56	
第4 分区	古河	54	51	0	1	0	1	-1	50	3
	境	32	29	0	0	0	0	0	29	0
	岩井	3	6	0	0	2	0	2	8	1
	古河東	53	51	0	0	0	0	0	51	16
	古河中央	50	46	0	0	1	0	1	47	5
合 計	192	183	0	1	3	1	2	185	25	
第5 分区	下館	35	29	0	0	1	0	1	30	3
	結城	26	24	1	1	1	1	0	24	0
	真壁	16	15	0	0	0	0	0	15	0
	下妻	64	61	0	0	1	0	1	62	6
	しもだて紫水	53	51	0	0	0	0	0	51	4
	筑西きぬ	16	11	0	0	0	0	0	11	1
	岩瀬	22	20	0	0	0	0	0	20	0
合 計	232	211	1	1	3	1	2	213	14	
第6 分区	石岡	18	17	0	0	0	0	0	17	0
	土浦	51	48	0	0	0	0	0	48	6
	土浦南	89	87	0	0	1	0	1	88	7
	つくば学園	103	101	0	1	1	2	-1	100	0
	石岡87	26	24	0	0	0	0	0	24	0
	土浦中央	13	11	0	0	0	0	0	11	0
	つくばシティ	58	53	0	0	1	1	0	53	8
	阿見	16	13	0	0	2	0	2	15	1
つくばサンライズ	14	13	0	0	0	0	0	13	6	
合 計	388	367	0	1	5	3	2	369	28	
第7 分区	竜ヶ崎	35	34	0	0	0	0	0	34	5
	水海道	55	53	0	0	0	0	0	53	2
	取手	18	16	0	0	0	0	0	16	0
	牛久	39	38	0	0	0	0	0	38	3
	守谷	5	3	0	0	0	0	0	3	0
	龍ヶ崎中央	10	7	0	0	2	0	2	9	2
合 計	162	151	0	0	2	0	2	153	12	
第8 分区	鉾田	30	29	0	0	0	0	0	29	0
	鹿島臨海	45	44	0	0	0	1	-1	43	5
	玉造	10	8	0	0	0	0	0	8	1
	波崎	15	13	0	0	0	0	0	13	1
	鹿島中央	22	20	0	0	1	0	1	21	2
合 計	122	114	0	0	1	1	0	114	9	
茨城Eクラブ	13	11	0	0	0	0	0	11	4	
地区合計	1991	1855	9	3	38	6	32	1885	176	

※期首とは7月1日の午前0時時点、末日とは当日末日午後12時時点とする。

2023年7月の会員増強の石岡RCの会員目標数が22人とありましたが、正しくは18人です。お詫びして訂正申し上げます。



新会員紹介



北茨城RC  
鷲 祐二

■入会日  
2023年7月3日  
■職業分類  
冠婚葬祭



鹿島中央RC  
飯島 稔

■入会日  
2023年7月6日  
■職業分類  
不動産販売業



大洗RC  
長谷川 馨

■入会日  
2023年8月3日  
■職業分類  
教育



大洗RC  
関 清一

■入会日  
2023年8月3日  
■職業分類  
地方行政



水戸西RC  
打越 美和子

■入会日  
2023年8月16日  
■職業分類  
詩吟講師



結城RC  
市川 英信

■入会日  
2023年8月23日  
■職業分類  
地方銀行



水戸東RC  
柳瀬 香織

■入会日  
2023年8月24日  
■職業分類  
土木工事



水戸RC  
松木 裕人

■入会日  
2023年8月29日  
■職業分類  
情報通信



水戸RC  
川上 俊也

■入会日  
2023年8月29日  
■職業分類  
新聞



水戸RC  
福加 博人

■入会日  
2023年9月5日  
■職業分類  
総合建設請負



つくば学園RC  
篠原 智

■入会日  
2023年9月21日  
■職業分類  
地方銀行



つくば学園RC  
益子 賢

■入会日  
2023年9月21日  
■職業分類  
外食産業



石岡87RC  
小林 博之

■入会日  
2023年9月27日  
■職業分類  
麻酔医

LINE 公式アカウント

**友だち募集中**

第2820地区公式LINEを開設いたしました。  
LINEアプリより友達登録をしていただくと、  
地区からのお知らせや月信がご覧いただけます。

@103mbrqx

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか  
QRコードをスキャンしてください

11月・12月のスケジュール

- 11月4日・5日(土・日)  
地区大会・RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会  
(水戸市民会館・水戸プラザホテル)
- 11月11日(土)  
2024-2025年度第1回G補佐会議  
(ホテルテラスザスクエア日立)
- 11月12日(日)地区親善野球大会  
(水戸市総合運動公園軟式野球場・四面球場)

- 11月26日(日)  
2024-2025年度第1回地区ラーニング委員会  
(ホテルテラスザスクエア日立)
- 12月9日(土)第2回諮問委員会
- 12月15日(金)  
2023-2024年度第2回G補佐会議・  
総括委員長会議
- 12月16日・17日(土・日)  
ライラセミナー(水戸市青少年自然の家)



## 2024年 シンガポール国際大会早期登録のご案内

### 国際大会 開催期間（2024年5月25日～29日）

My ROTARYにてオンライン登録が可能です。登録料が\$500（11月1日現在）となり開催期日が近づくにつれて、段階的に上がっていきます。茨城ナイトは国際大会期間中の2024年5月26日を予定しております。

### 国際大会の会場とホテル

大会の会場はマリーナ ベイ サンズ エキスポ & コンベンション センターとナショナルスタジアムの2か所となります。個人でいらっしゃる方は、ホテルをMy ROTARYで予約されるのも一案です。会場に近いホテルから埋まっていますので、早めの予約をお奨めいたします。



国際大会会場のマリーナ ベイ サンズ

## 2026－2027 年度 地区ガバナー候補者推薦のお願い

（ガバナーノミニー・デジグネート）

このことにつきましては、2012年5月26日の指名委員会・ガバナー補佐合同会議及び2012年8月18日の諮問委員会において、今後の第2820地区ガバナーノミニーの選出が、ガバナー及び輩出クラブの負担軽減を含め、スムーズに行われるよう、現行制度を以下のように改革する案が協議され採択されております。

### 協議事項1. 第2820地区の8つの分区を以下の5つのブロックにする。

第1ブロック	第1分区、第2分区
第2ブロック	第3分区
第3ブロック	第4分区、第5分区
第4ブロック	第6分区
第5ブロック	第7分区、第8分区

### 協議事項3. ガバナーノミニーの選出ブロック順は以下となる。

2026－2027	第3ブロック
2027－2028	第4ブロック
2028－2029	第2ブロック
2029－2030	第1ブロック
2030－2031	第5ブロック

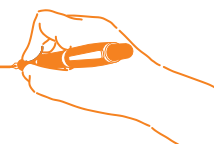
2026－2027年度ガバナー（ガバナーノミニー・デジグネート）については、協議事項3により、第3ブロックより選出されることとなりますので、第3ブロック内クラブより推薦いただき、ガバナー事務所にご連絡ください。

ガバナー指名委員長 **高橋 賢吾**

## (私論) 人望を育てること

ガバナー 大久保 博之

- 世の中で、自分の事しか考えない人に真の友人がいないこと、人のうわさや悪口をいう人に人望が無いことを大人は誰でも知っているものです。
- 反面、常に相手の立場を思いやって判断する人の回りに、多くの人が集まる事も事実です。これを「人望」といいます。リーダーには欠かせぬ条件です。作家の司馬遼太郎さんが「人望とはその人が困っているときに手を差し延べてやりたいと思わせる人のことを言う。」とどこかに書いておられました。幼稚園でも小さいころは体が大きいとか、私の強いとか、生まれ月が早い子がリーダーシップを取ることが多いのですが、年長になるにつれて、思いやりのある、人望のある子がリーダーシップを取るようになってきます。(うれしいことも楽しいことも、苦しいことも、悲しいことも)多くの経験を経ている子に多い様です。
- 私はある青年経営者の全国組織に属していました。数万人の組織のトップ10の会頭、副会頭(私は副会頭でした)、常任理事、顧問は絵に描いたようなナイスガイであります。頭が切れて、若くして社長や、専務です。海外留学組も多く、物腰がさわやかで、運転手がついている人も多い。皆順風満帆に見えました。しかしあるとき、ある一人のメンバーの会社が厳しくなると、サーっと回りの人が去っていくのを見て、ああ、苦勞を知らない人たちは「情」が育っていないのだなあ、つくづく思いました。(勿論全部が全部がそうではありません)子どもも、過保護に、つまづかないように、先に先に親が手を回して育てていると、挫折に弱く、自己中心的な冷たい人格になってしまいます。
- 筑波大名誉教授の国分先生は、「登校拒否の子供の大部分は家事手伝いをしていない。子供達は何もしなくても家で風呂が沸き、目の前にご飯が食卓に並ぶと考える。こういう現状認識では家庭外の厳しい現実生活にはついていけない。」と言っています。さらに、先生は人間には①愛情の苦勞、②金銭的苦勞、③時間の苦勞をさせた方がよいとも書いています。人は誰も好んで退学、留年、失恋、別離、倒産、死別、失業、病気、不和、投獄などを経験するわけにはいきませんから、よって、こうした経験は小説や、映画、演劇などで擬似体験をする他はありません。  
しかし、この人望は年齢にかかわらず獲得できるものであることは間違いありません。



月信の編集に関わらせていただく様になって、はや5ヶ月経ちました。これまでインターアクト委員会や国際奉仕委員会、米山奨学委員会等での事業経験はさせていただいて来ましたが、編集委員会の仲間と一つのものを作り上げていくという経験は、ロータリークラブに入会した11年半の間で初めてのことでした。

月信を発行しているということは、地区大会が開催されるということです。そして、この11月号が発行される11月の4～5日とその日にあたります。記録委員会としてチラシやパンフレットの製作も同時期にしないといけないという過酷な日々が続くタイミングで回ってきた編集後記の当番！。

時間がないと不満を漏らしながらも書いております(笑)。(神尾)